

ももさと 通信

2024年
8月1日
第11号

〈発行〉社会福祉法人桃郷 〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月58番地3 TEL 0736-66-8851 FAX 0736-67-8851



すべての子どもに豊かな育ちを

URL <https://www.momosato.com>
E-mail momosato@galaxy.ocn.ne.jp



4月25日（木）、ご厚意により、貴志川町にあ
るいちご畑での収穫の機会を提供していただきま
した。2歳児集団の、はじめてのお出かけ。大き
なバスが敷地内に入つてくると大興奮！玄関に集
合するなり、早くバスに乗り込みたくて玄関ドア
が大渋滞。われ先にと、急いで乗り込み、それぞ
れがお気に入りの場所をみつけて着席しました。
そこからの道中は、とーつても静か…。車内でシ
ートに座ると落ち着く子ども達でした。車窓から外
の景色を見たり、中に先取りでお昼寝をする子も
（笑）。心地よさそうにバスに揺られ、約20分。到
着後、早速、畑を提供してくださった方々にご挨
拶し、いちごがたくさん実っているビニールハウ
スの中へ。ひたすらいちごを手に取り、手持ちカ
ゴへと運びながら収穫を楽しむ子、手元に届いた
いちごをおいしそうに頬張る子、虫探しや散策に
夢中の子…過ごし方はそれぞれですが、みんなで
同じ時間を共有し、いちご畑を堪能してきました！そして、保育士お手製の顔はめパネルは大人
子ども達でした。いちご狩り翌日は、親子保育で
保護者の方と一緒に試食タイム。おかわりのリク
エストが止まらないくらい、保護者の方々も、い
い香りに誘われながら甘ーいいちごを口にしてい
ました。法人内の事業所が、それぞれ別日に収穫
体験をさせていただきました。このような機会を
与えていただけたことに感謝いたします。

くるみ教室 山田 理恵

あまいイチゴを堪能したよ

2024年新入職員座談会

採用1年目2年目の職員を対象に新人研修を行いました。

船木常務理事の研修では、法人設立当時の保護者の願いや、保育に正解はなく子ども一人ひとりに合わせた保育を職員全員で作り上げてほしいと語つていただきました。

山本翔太相談部長からは、桃郷の実践で大事にしてきた「発達保障」について研修を行いました。実践の中で子ども一人ひとりの背景を深くとらえるため、行動の背景にある意味を考える視点を持つことを学びました。今年度の研修では、座談会方式で研修の感想や桃郷に入職した思いを語つていただきました！

司 会・山本相談部長 船木常務理事

参加者・阿部若菜（つぼみ園保育士2年目） 中川梨華（つくしんぼ園保育士2年目）

宮本加奈（ひまわり園保育士1年目） 阿弥心太郎（ひまわり園保育士1年目）

前田菜希（つぼみ園保育士1年目） 畑取 有寿（法人事務局事務員1年目）

山本・新人研修お疲れ様でした。座談会の司会の相談部 山本です。

自己紹介と新入職員研修で学んだことや聞けてよかったですこと、もっと勉強したいと思つたことは何ですか？

一緒に楽しいと思える保育を作つていただきたいと思います。

山本・つくしんぼ園保育士の中川です。まだまだ教えてもらつたこと・学ぶことがたくさんあるなど感じました。先生や子ども達から色々なことを学び精一杯子どもと関わつていきたいと思います。

阿部・つぼみ園保育士の阿部です。学ぶことがたくさんあり、いろんな先生の保育を見て「試してみよう！」と思つたことを取り入れて、子どもたちと

前田・つぼみ園保育士1年目の前田です。保育に正解はないという船木常務理事の言葉や、先輩から教わったことを活かしながら、いい保育ができるようになりたいです。

畔取

：法人事務局の畔取です。30年続いた法人で保護者の思いや職員の思いを知り、法人運営をより大切に感じました。事務職ですが子どもと関わることが全くないわけではないので子どもたちも学んでいきたいです。

宮本・ひまわり園保育士1年目宮本です。担任制とは違つたりーダー制では保育士それぞれひとり一人違つた色の保育があつて面白いです。船木常務理事の話を聞いて、保護者の心に残る言葉をかけられる保育士になりたいと思いました。

阿弥

：ひまわり園保育士1年目阿弥です。子どもの心に寄り添うことの大切さを改めて感じることができました。子どもを理解しようとする心と保護者の心に寄り添うことでひとり一人の人の権を大切にしていきたいです。

畔取

：金融機関に勤務したのち、合同説明会に参加して就職を決めました。

ひまわり園が隣にあるので園庭を眺めていると子どもの成長を感じることが出来て感動しています。

山本

：思い切つて違う分野に飛び込んでみてどうですか？

畔取

：わからないことばかりで難しく思つ事がたくさんです。いろんなことを学んでいきたいと思います。

前田

：保育実習で児童発達支援や保育園の実習を経験し、ひとり一人に丁寧に寄り添う療育が合つていると感じ桃郷への就職を決めました。

阿弥：療育を選んだ理由は、保育所とは違うひとり一人に合わせた言葉かけや、子どもの行動からなぜ？を探つて子どもを理解することに魅力を感じました。

宮本：卒業後は保育園で勤務していました。そこにも気になる子はいましたが、多人数クラスの担任制の中でひとり一人に寄り添うことは難しく、もどかしく感じ、子どもひとり一人に寄り添うことを大切に考える療育の施設で働きたいと思いました。子どもが安心して過ごせる環境を作る根本の部分は変わりませんが、子どもひとり一人に合わせる療育を楽しく感じています。

山本：思い切つて違う分野に飛び込んでみてどうですか？

畔取：わからないことばかりで難しく思つ事がたくさんです。いろんなことを学んでいきたいと思います。

前田：保育実習で児童発達支援や保育園の実習を経験し、ひとり一人に丁寧に寄り添う療育が合つていると感じ桃郷への就職を決めました。



座談会①

中川：ひまわり園での実習を経験し、担任制よりも職員全員で子どもに寄り添うリーダー制に魅力を感じました。

阿部：実習に来た時に子どもたちが純粋で可愛かったです。子どもたちの成長を感じられた時、こちらもうれしい

気持ちが大きくて選んでよかったですと思っています。

船木：「お互いを理解しあおうね」という立場に立つことが、一番大事だと思います。

発達的理解として、行動の理由を探る。また子どもからのストレートな気持ちや言葉も大事にしたいですね。

2年目の阿部先生・中川先生は一年

間いろんな保育・行事を経験してきた

山本：就職してみて思ったよりも難しかったこと・イメージと違ったことはないですか？

阿弥：言葉かけが難しいなと思います。先輩の真似をしてもうまくいかず、子どもとの信頼関係作りも大切だなと実感しました。また言葉だけではなく体を使つた表現で伝えることの大しさを感じています。

前田：つばみ園の先生方は、子ども達の目線で元気に楽しく一緒に笑つていて楽しい保育をしています。先輩方を見ると、まだまだ自分には足りないところがあるなど感じます。子どもたちと関わり、信頼関係を気づいていたらと思っています。

中川：自分の声掛けを聞いてもらえたかったことも、今は少し聞いてくれて納得してくれることも増えました。離席する子を無理につれていくのではなく、子どもが納得して戻つてきてくれることを信じることもできるようになりました。

難しさを感じたときや、乗り越えて自分が成長できた！と思うことを教えてください。

中川：ひとり一人に合わせることが出来るようになれたことが成長ですね。季節行事や年一回の行事などで苦労したことはありますか？発表会でのおはなしで主人公になつたことはどうだった？

船木：ひとり一人に合わせることが出来るようになれたことが成長ですね。季節行事や年一回の行事などで苦労したことはありますか？発表会でのおはなしで主人公になつたことはどうだった？

宮本：最初は子どもたちの反応が小さくてさみしく感じていましたが、表面に表れていない感情に気づくことが面白くなつてきました。子どもひとり一人のつまずきが違う中で、子どもたち自身がどう感じているか。お友達に興味があつて唾をかけてしまうけど、かけられた側の嫌な気持ちは分かるし、もう一方の友達と関わりたい気持ちとの間でどうすれば…と悩むことがあります。

中川：出来るか心配だったし、緊張でセリフを忘れてアドリブもあつたけど、楽ませたい一心でやりきりました！慣れないことばかりで大変でしたが周りの先生に褒めて頂いたことで「頑張つてよかったです」と思いました。

阿部：最初は子どもたちの前で何かすることが恥ずかしかったですが、全力でやるから子どもたちも応えてくれることに気づくことが出来ました。

散步のときには、子どもとの安全な距離感が分からず、楽しめなかつた時期もありましたが、子ども達と全力で遊ぶことでひとり一人の距離感がだんだんと分かつてきて今は子ども達と散歩に行くことが楽しいです！



研修風景①



研修風景①

どんな風に園での子どもの様子を伝えたらいいか難しさを感じています。

山本：私は学生時代に指導員のバイトをしていました。その時、苦手だったのが「連絡帳を書くこと・保護者に子どもの様子を伝えること」でした。苦手だと思っていたのに今は相談員として保護者と向き合っています。苦手な

ことが悪い事ではなく、苦手だからどうすればいいか考え工夫すると思います。自分の苦手なところを自覚するということが大切だと思います。

山本：子どもの姿にほっこりするエピソードや心にのこったことはありますか？自分のうつかりしたエピソードでも大丈夫です（笑）

船木：私は遠足で迷子になつたことがありました。気づいたら周りに誰もいなくて慌てました…。迷子に誰も気づかず、子ども達から「園長先生がいないよ！」と大騒ぎになりました。迎えに来てくれた方から「絵本の主人公みたいね」と笑いあつたこともいい思い出です。

阿部：私が病院に行くことがありその、前の日に、子ども達にお休みすることを伝えたときに「明日頑張ってね」とお花を渡してくれた子がいました。それを見たお友達が皆でお花を集め花束をつくってくれました。船木：お見舞いの心を持つ・伝えたいと子どもたちが思うことは「心が育つ」ということの表れだと思います。とつてもいい経験が出来ていると思

中川：今でも子どもたちから「発表会の時のリカちゃん（※おはなしの主人公）は先生だつたんじよ！」と言つてくれる事がうれしいです。

船木：子どもたちの楽しい思い出についていると思います。リカちゃんを見たとき子ども達は次の場面に期待して和んだ雰囲気になり素敵でした。

前田：プールで、一緒に入水した子から「プール楽しかったね！」と伝えてくれる子がいてすごくうれしかったです。



山本翔太相談部部長の研修

船木：一緒に入れてうれしかったと思います。子どもの心に残る思い出をたくさんつくってあげてください

畔取：ひまわり園の5歳児さんで「結婚しよう」ブームがあつて、お花を持ってきてプロポーズされたことがあります。可愛さにほっこりしました。

宮本：保育中に私が思いつきり転んでしまいドロドロになつてしまつたことがありました。別の子も服がどろどろで「ドロドロだから着替えてきなよ」とお話したときに、別の子から「先生もやろ」とツッコまれたことがあります。

阿弥：入職したばかりの時はなかなか子どもが近寄つてくることが少なかつたですが、一緒に過ごしていく中で少しずつ子どもと距離が近くなつてきたと思う事が増えてうれしいです。

山本：実習に来る学生さんの中には、療育に興味があつても実際に療育施設で働くためには保育士 + α何かのスキルが必要ではないかと感じる方がいると聞きます。

阿部：入職前は、「この診断名にはこん

就職前に不安を感じていたことや、入つてみてから不安に思つたことがあります。

れば教えてください。

な対応」「この障害にはこの対応」というのを理解しなければいけないと思っていて、勉強してもイメージ出来ないことも多く不安に思っていました。

今は勉強するに越したことはないと思いますが、「子どもと触れ合つて分かることがたくさんあること」・「診断名が同じでもひとり一人それぞれが違う子ども」だと思うので、不安に思う気持ちはなくなりました！



座談会②

山本・最後の質問です。今日の研修や入職してからの経験を通して、5年後10年後どんな職員になつていいか、夢・理想を一言ずつ教えてください。

阿弥・発達のことや子ども達の事を教えてもらうことが多いので、自分が教えることが出来るようになつていきたいです。これからいろんなことを学んでいきたいと思います。

宮本・今は明るさと笑顔、勢いで乗り切っている感があるので、5年10年後には頼れる先輩になること！笑顔で子どもに共感しながら、子どもと信頼関係を築いて「この先生となら面白い事がある！」と思つてもらえる保育士になりたいです。

畔取・職員の皆さんに信頼される事務員です。また事務だけではなく、子どもたちの事も理解していきたいと思います。

前田・保護者から信頼される保育士になります。



船木常務理事の研修

で支えあつて育ちあつていくことが基本です。障害を持つということは予期せぬ出来事でたまたま触れたことで誰のせいでもないこと。障害があつても

なくとも皆で育ちあい、大らかな気持ちでいることを大切に思っています。

療育を選んで一緒に勉強していくてくれるのを歓迎しています。保護者の方と一緒にその子らしい幸せを一緒に作り上げていく視点を持つてほしい。保育に正解はない、保育を楽しんでほしい。

子どもと一緒に楽しんでください。療育をみんなで楽しむことが出来る、そんな職場にしていきたいと思つています。

これから一緒に頑張つていきましょう！

船木・発達保障というところはみんな

子ども達には「この先生となら楽しい！」と思つてもらえるような信頼される保育士でいたいです。

中川・子どもを惹きつけることが出来る魅力のある保育士になりたいと思ひます。

阿部・療育・桃郷を選んでよかつたと保護者にも子ども自身にも思つてもらえる保育が出来るようになりたいと思います。

山本・最後に船木常務、本日のまとめと新人職員にメッセージをお願いします。

前田・保護者から信頼される保育士になります。

ごあいさつ

昨年で「社会福祉法人桃郷」が誕生してから30年となりました。

節目の記念事業として、昨年6月から約1年をかけ4つの記念事業に取り組みました。それぞれの事業所職員が集い、約3年前から話し合いと準備を始めての取り組みでした。催しは、「式典」「記念講演会」「実績報告会」「学習会・座談会」に、延べ600余名の方々にご参加を頂き盛会裡に終える事ができました。ご参加、ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。

振り返ってみると、みんなの願いを集め運動を起こしていった年月、無認可施設として始めた障害児保育「ひまわり園」の設立をさかのぼると約40年、皆が願いを持ち合った運動体の中で作られてきたという歴史となりました。

「那賀郡子どもの豊かな発達を支える会」の発足・運動、そしてその願いの下、1994年認可施設「知的障害児通園施設ひまわり園」の運営が始まりました。定員30名の園児と職員27名からの出発でしたが、皆様の愛と職員の勤勉に支えられ、児童発達支援センター・児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・相談支援事業とを計13か所を運営するに至っています。

初代ひまわり園に通園された園児たちは早30歳半ばを迎えていました。30年の記念事業での保護者座談会では、乳幼児期の生活の場としてのひまわり園での思い出話と現代の生活の楽しみを繋げた報告を聞くことができました。当園児だった子どもの姿を思い出しながら、「人が育っていくという事」「豊かに育つという事」を改めて実感することができ、30年間の大きな実りとして感無量の想いでした。

学校も社会参加も皆さんの願いを配して充実してきました。青年たちのたまり場も増え、趣味としてのやりたい事にも願いが叶う場が出来始めてきました。法人設立から現在までの30年は大いに実りのあるものとなりました。地域が連携プレーで繋がるとこんなにも地域も豊かになること、教育現場・学童保育や作業所と取り組む内容も豊かになっていることに驚きを感じました。これも一つは、「乳幼児期からの発達保障への発信」の一功かなと、いさかの自己満足をも持った次第です。

まだまだ課題は山ほどあります。なかなか少数派には光が当たりにくい現在、当事者からの声を聴き共に考えてそして連携しみんながそれぞれの幸せの輪を持てるようにと願う次第です。まだ私もこの心意気を捨てないようにしたいと念じています。

今年1月全く予期していなかった能登半島地震という自然災害と未だ続く震災関連死、また各国で起きる戦争という人為的災害に心が痛み、苛立ちを感じるばかりです。平和と平安・安全を求める微力ながら皆様と一緒に歩んでいく事をモットーといたします。今後ともお付き合い宜しくお願ひいたします。

社会福祉法人 桃郷
理事長 船木 孝明



第20回桃郷まつり 2024年11月9日 開催予定！

※場所・時間など詳細は決定次第ホームページにてお知らせします♪



桃郷の理念



- ① すべての子どもたちが平等な権利を享受し、地域社会に参加できることを目指します。
- ② 保護者、家族、地域と共に学びあい、共に育ちあうことを目指します。
- ③ ひとり一人の子どもの発達を理解し、生活を通して豊かな人生を歩む基礎づくりを目指します。
- ④ 地域福祉の担い手として、地域ニーズに応える取り組みを実践します。
- ⑤ 保健、福祉、医療、教育、地域の皆様と手を取り合い、子どもを支える地域づくりを目指します。

発達講座⑪

『ふれあい遊び』を 発達的視点で読み解く？

つぼみ園 発達相談員

下地 啓紀

つぼみ園では5月に春の遠足がありました！…が、天気予報はあいにくの雨…ということで、桃山体育館で親子リズムをしました。その時、特に子どもたちがイイ顔をしていたのは親子での『ふれあい遊び』の時間です。今回は、この『ふれあい遊び』を発達的な視点で読み解いてみたいと思います。

『ふれあい遊び』とは、文字通り「触れる・触れられる」という相互の身体接触を含んだ遊びです。身体接触に関する研究は古くからされており、身体接触が親子間の信頼関係を築く上で大切なものであるということは共通の認識になっています。特に乳児期は、お母さんに授乳や排泄、着替えなどのお世話をしてもう中で、「心地よい」という乳児の内的な感覚と、お母さんの笑顔や声などの外的な感覚を統合していく時期と考えられており、それらが後々他者と関係を築いていく力の礎となっていくといわれています。また、親にとつても自分が触れ、働きかけたことで子どもが微笑んだり、泣き止んだりすると、嬉しくなったり、関わり方がわかつて安心したりすると思います。つまり、親と子は触れ合う中で、互いに発達していきます。

ふれあい遊びの代表的なものに、「くすぐり遊び」があります。くすぐり遊びは、生後6か月すぎ頃から特に親子間で楽しまるようになります。

桃郷を利用している子どもたちの中には、人よりも感覚が敏感、または鈍感であるなど、感じ方が個性的な子どもたちもたくさんいます。中には、ふれあい遊びが苦手なお子さんもいるかもしれません。でも、焦らず、まずは子どもと自分の「ちょうどいい加減」を一緒に探ってみてはいかがでしょうか。そして、そこから楽しみを共有する中で、少しずつ良い感覚が広がっていくといなと思います。大変な時は職員を頼りつつ、今しかできない経験をたくさん楽しんで行きましょうね。

すぐつたさ』という身体感覚とそれに伴う笑いなどを共有しながら行う遊びです。早稲田大学の石島先生・根ヶ山先生の論文によれば、親子間のくすぐり遊びをよく観察していると、お母さんが乳児をくすぐる際、目の前でくすぐる手を見せる等の「焦らし」を含んだくすぐりが見られ、この際、手が乳児の身体に触れる直前に、乳児が予期的にくすぐつたがるという姿が見られたそうです。このくすぐられることへの期待は、他者の意図への気づきの予兆ともいえ、後の社会性の発達へとつながっていると考えられています。

日常的な保育場面を観察していると、歌にのせたふれあい遊びや、繰り返しのある絵本の読み聞かせ、追いかけっこなどの場面においても、同様に次の展開を予測・期待し、楽しむ姿が見られます。たっぷりと間をとり、次の展開を予期しやすい仕掛けや働きかけをすることがその面白さを増大させることに繋がっているようです。そして、その楽しさや面白さは共感する他者がいることで、より一層膨らんでいきます。

社会福祉法人 桃郷

■児童発達支援センター

ひまわり園	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月58番地3	☎0736-66-0995	✉0736-66-1905
つくしんぼ園	〒649-7207 和歌山県橋本市高野口町大野74番地1	☎0736-42-0100	✉0736-43-0200
つぼみ園	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月736番地1	☎0736-66-0013	✉0736-66-0023

■児童発達支援事業

木の実教室	〒649-6236 和歌山県岩出市曾屋370番地17	☎0736-62-0815	✉0736-62-0856
くるみ教室	〒649-6246 和歌山県岩出市吉田228番地1	☎0736-67-7788	✉0736-67-7799
くまの子教室	〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺146番地2	☎090-3673-9958	

■多機能型事業所

あすなろつばさ	〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降1062番地1	☎0736-23-2900	✉0736-23-2929
---------	----------------------------------	---------------	---------------

■放課後等デイサービス

青空	〒649-6427 和歌山県紀の川市西井阪224番地1	☎0736-77-0070	✉0736-77-0050
粉河青空	〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河46番地	☎090-6969-4195	
青空つばさ	〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺146番地1	☎0736-22-5551	✉0736-22-5561

■相談支援事業所

桃郷障害児者相談支援センター	〒649-6222 和歌山県岩出市岡田649番地2	☎0736-67-8891	✉0736-67-8892
つくしんぼ相談支援室（つくしんぼ園に併設）	〒649-7207 和歌山県橋本市高野口町大野74番地1	☎0736-42-0100	✉0736-43-0200

■法人本部

事務局	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月58番地3	☎0736-66-8851	✉0736-67-8851
-----	------------------------------	---------------	---------------

新規採用職員の自己紹介

薮本 幸男

【所属】法人本部 事務局長

【趣味、好きなこと】

トレッキング、ラグビー観戦

【意気込み、抱負】

「すべての子どもに豊かな育ちを」という桃郷の理念のもと、諸先輩方がこれまで築いてこられた歴史を引き継ぎ、精一杯頑張りたいと思います。

松尾 真由美

【所属】つくしんぼ園 園長

【趣味、好きなこと】

絵、ガーデニング、旅行、食べ歩き

【意気込み、抱負】

新しい職場環境、新しい出会いにワクワクドキドキの毎日です。「ワクワク」することで前頭葉を活性化させながら、子どもや保護者、先生方と共に育っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

畠中 京子

【所属】ひまわり園 保育士

【趣味、好きなこと】

野球観戦

【意気込み、抱負】

正職員として働くこととなりました。これまでの経験を活かし、周りの状況を把握しながら行動していくよう、気持ちを新たに努めていきたいと思いますので宜しくお願ひ致します。

宮本 加奈

【所属】ひまわり園 保育士

【趣味、好きなこと】

身体を動かすこと・食べることが好きです

休日はバレーボールをしたり、友達とご飯に食べに行ったりしています。

【意気込み、抱負】

持ち前の明るさを活かし、子どもたちと笑顔あふれる毎日を過ごしていきたいです！

阿弥 心太郎

【所属】ひまわり園 保育士

【趣味・好きなこと】

バイクに乗ることや、見ることが好きです。

【意気込み、抱負】

社会人一年目ということもあり、分からぬことばかりで至らない点もあると思いますが子ども達一人ひとりの尊厳を大切にして共に成長したいと思います。精一杯頑張りますのでこれからよろしくお願ひ致します。

前田 菜希

【所属】つばみ園 保育士

【趣味、好きなこと】

カメラ・書道

【意気込み、抱負】

小学校6年生の時の文集に20歳には保育士になっていると思いますと書きました。その夢がかないとしても幸せに感じています。子ども達から色々なことを学び、先生方の子どもとの関わりを見て学び、子どもたちの成長を見逃さないような保育士を目指します。

西本 奈津子

【所属】桃郷障害児者相談支援センター

相談員・保育士

【趣味、好きなこと】

山登りが好きで、テント泊もします。

【意気込み、抱負】

子どもがしっかり育つように、保護者の方のおもいに寄り添いながら、より良い環境づくりのお手伝いができます。

畔取 有寿

【所属】法人事務局

【趣味・好きなこと】

温泉に行くこと、食べること

【意気込み、抱負】

何事にも積極的に取り組み、早く仕事を覚え、正確な業務をできるよう努めたいと思います。

編集後記

今年度も、ももさと通信を年度内に3号作成予定です。お手元に届いた方々にご一読して頂けると幸いです。もし一読している中で「こんなことが気に入る」や「こんなこと知りたいんだけど」という事がありましたら、是非ご意見などを桃郷ホームページ内の問い合わせから送つて下さい。

頂けたらと思いますのでよろしくお願いいたします。今年度は4年に一度の改正・報酬改定という事で、それぞれの施設で事務的な対応に追われていますが、子どもたちへの関わりや桃郷の理念、方針としては従来と変わりありませんので、保護者の方と一緒に子どもの姿から職員も学ばせてもらえたたらと思っていきます。

(松岡)